

令和4年度下期募集分「芸術活動振興事業助成金」応募団体の審査結果について

令和4年8月19日にアーツカウンシル部会において厳正な審査を行った結果、
下記のとおり決定しました。

<応募総数>

131件

<助成予定件数>

76件

<審査結果一覧>

	申請件数	助成予定件数
演劇	45	29
邦楽	8	6
邦舞	4	4
洋楽	33	15
洋舞	6	5
古典芸能	5	3
大衆芸能	10	5
芸術祭等	5	0
美術	14	9
映画	1	0
合計	131	76

<アーツカウンシル部会(芸術活動振興事業に関する審査員※令和4年8月19日時点)>

宮崎 優也	アーツカウンシル部会長
志村 聖子	相愛大学音楽学部 准教授
塚原 悠也	京都市立芸術大学 彫刻学科講師 アーティストユニット ContactGonzo ディレクター・パフォーマー 京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター
畑 律江	毎日新聞大阪本社 学芸部専門編集委員
原 久子	大阪電気通信大学総合情報学部 教授
広瀬 依子	追手門学院大学国際教養学部 講師
長川 勝勇	インターナショナルアーティスト支援協会 代表理事
松尾 美矢子	フリーランス演芸ライター
山納 洋	common cafeプロデューサー 大阪ガス株式会社 近畿圏部 都市魅力研究室長

令和4年度 大阪市芸術活動振興事業助成金 交付決定一覧【一般助成下期募集分】

分野	No.	申請団体名	分野	No.	申請団体名
演劇	1	一般社団法人清流劇場	邦舞	39	扇流
演劇	2	株式会社関西芸術座	洋楽	40	アンサンブル・レネット
演劇	3	MTCproject	洋楽	41	廣澤 敦子
演劇	4	あうん堂	洋楽	42	『Play Rhythm!』実行委員会
演劇	5	工藤俊作プロデュースプロジェクトKUTO-10	洋楽	43	サウンドinn企画
演劇	6	株式会社バイタルアートボックス	洋楽	44	岡田 智則
演劇	7	劇団大阪	洋楽	45	狂言風オペラ実行委員会
演劇	8	N-Trance Fish	洋楽	46	大阪フロイデ合唱団
演劇	9	劇団M's-G	洋楽	47	千里フィルハーモニア・大阪
演劇	10	TheStoneAgeヘンドリックス	洋楽	48	CREMONALABO株式会社
演劇	11	空の驛舎	洋楽	49	谷町キッズポップフィルハーモニー楽団
演劇	12	エレベーター企画(EVKK)	洋楽	50	Go-Musique
演劇	13	演劇ユニット・チーム銀河	洋楽	51	北欧の音楽ピクニック実行委員会
演劇	14	株式会社モトキカク	洋楽	52	BUSKER'S Saxophone Quartet
演劇	15	コマツまつり(小松利昌)	洋楽	53	TRIO CREMISI
演劇	16	株式会社INDEPENDENT	洋楽	54	一般社団法人Reise
演劇	17	遊劇舞台二月病	洋舞	55	お・ど・ら・ぼ
演劇	18	あみゆーず・とらいあんぐる	洋舞	56	Tidak apa-apa
演劇	19	コズミックシアター	洋舞	57	Wandarim
演劇	20	ポケット企画	洋舞	58	NPO法人Discovery School
演劇	21	語り劇団 桜座一家	洋舞	59	1998
演劇	22	田中 遊	古典芸能	60	大阪芸術文化発信プロジェクト
演劇	23	ツレツレ	古典芸能	61	大阪ミナミ国際文化交流委員会
演劇	24	劇団アケオーラコミンチャ	古典芸能	62	朝雄会
演劇	25	空晴	大衆芸能	63	京山 幸太
演劇	26	dracom	大衆芸能	64	月亭 文都
演劇	27	N2	大衆芸能	65	旭堂南龍を囲む会
演劇	28	T-works	大衆芸能	66	沢村 さくら
演劇	29	演劇unit青空ソーダ	大衆芸能	67	桂文我
邦楽	30	石堂 翠子	美術	68	澄 毅
邦楽	31	弥生 みゆき	美術	69	パケクション
邦楽	32	奏会実行委員会	美術	70	音楽と演劇の年賀状展
邦楽	33	春日とよ士加	美術	71	MUSIC ZOO
邦楽	34	尺八古典本曲断片	美術	72	合同会社シカク
邦楽	35	一般社団法人関西常磐津協会	美術	73	西村 大樹
邦舞	36	有限会社 児雷也	美術	74	山下智子
邦舞	37	(公社)日本舞踊協会関西支部大阪ブロック大阪中央地区	美術	75	安見 一葉
邦舞	38	榎茂都 華絹	美術	76	深 由依

交付決定件数(一般助成)	76件
交付決定額計	8,795,000円

令和4年度 大阪市芸術文化活動助成（下期・一般）の審査について

新型コロナウイルス感染症の予期せぬ再拡大に翻弄される日々の中、たくさんの応募を頂き誠にありがとうございました。想定が出来ないことが次々と起こる中で、文化や芸術に関する公演やイベントを行うこと、そしてそれを支えていくことは並大抵のことではありません。大阪の芸術や文化を支える芸術家、団体、お客様の皆さまに改めて心より感謝申し上げます。

大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会（以降：大阪アーツカウンシル）は2022年度より統括責任者を含む委員が入れ替わり（1名の継続を除く）、新体制で本審査に臨みました。令和4年度上期の審査と整合性を取るために、審査基準などに関しては変更をしておりません。

今回は131件（うち新規が63件）の申請がありました。邦楽と洋楽に関しては過去最多の申請があり、その他の分野に関しても多少の変動もありましたが、過去最多の申請数となりました。この中から76件を採択し、採択率は約58%となりました。（うち満額は18件、新規は29件）

選考については、応募要綱に公開されている基準に沿って採点を行い、点数が上位の事業から採択をしていきました。また、交付予定額を100%と50%に設定することにより、より多くの事業に対して助成をすることが出来るように努めました。

私たち大阪アーツカウンシルでは、この審査の場をただ単に点数を付けて機械的に予算内に採択件数を調整するのではなく、大阪における個人や団体の実態や課題の共有、本補助金事業の審査や制度そのものの検討などの場と捉えています。本審査によって顕在化された各分野のアーティストや団体、そして本助成事業に関する課題などは、引き続き協議を重ねて適切な対応を取れるよう努めます。

今回の審査を通して大阪の文化や芸術を支えているアーティストや団体のクオリティの高さや多様な価値観の尊さを改めて再認識しました。本助成金は「市民に質の高い芸術鑑賞機会を提供する」というミッションにとどまらず、文化や芸術を通して大阪の未来を切り拓く様なものが数々ありました。「大阪は芸術や文化が冷え切っている」と言われることが多いのですが、蓋を開けてみるとそれらの活動が活発なだけでなく、今日の社会が求める理想的な文化芸術のあり方になっていると思います。改めて大阪の芸術や文化に強いポテンシャルを感じております。

2013年に設立された大阪アーツカウンシルは今年で10年目を迎え、改めてその活動や大阪における文化芸術への役割を考えていかなければなりません。大阪府市の所管事業の評価や補助金・助成事業の採択審査だけでなく、大阪の文化に関する基礎データや文化芸術関係者のニーズの把握などのシンクタンクとしての役割、文化芸術の担い手へのサポートなどの現場支援や文化芸術を生かした新たな提案の実施などにも取り組んでいます。これらの活動を通して大阪における皆さまの活動を心より応援させて頂きます。

大阪アーツカウンシル統括責任者
宮崎 優也